

## 今後に向けた取り組み（取り組み内容（メニュー）の候補案）

取り組みの内容については、計画期間（5年間）の中で、具体的な実施方法を検討し、準備をふまえ、必要に応じて実証運行・試行等をふまえて、本格的な導入を行うものです。

取り組みの方向性 （基本方針）	取り組み（事業）	取り組みの内容（候補）		区分	取り組みの主体	
		取り組み事項（取り組みの概要として記述） （イメージとして例示）	補足メモ（イメージ・例）		主体	連携・協力等

<b>1.</b> 将来にわたり、地域にふさわしい公共交通を持続します	<b>▼ 1-1 公共交通の持続的な運行</b>					
		市内循環バスなど市営の公共交通の持続的な運行	・部分的な調整をしながら、市営で運行を継続する。 （★国の補助を活用しながら、市営として継続）	継続	市	運行事業者（運行）
	<b>▼ 1-2 運行形態の見直しによる持続的な運行</b>					
		廃止等路線バスの代替手段の検討	・廃止等路線について運行形態を見直す等、代替手段を検討する。	実証運行、試行等	市	運行事業者（運行）
	<b>▼ 1-3 日常的な利用客（固定客）の確保</b>					
		鉄道・バスの乗り継ぎのための情報交換、ダイヤ調整	・ダイヤ改正時など情報交換する。 ・鉄道に合わせ、可能な範囲でダイヤ調整する。利用客のニーズに関する意見交換も、合わせて行う。（場を設けるのは新規）	継続	市、鉄道・バス運行事業者 （情報交換）	
		市内循環バスの日常利用を促すチケット等の可能性検討	・「複数日の利用」を促すチケットの可能性検討（例：1日乗車券の回数券、3デーパス、1か月バス等）	可能性検討	市	運行事業者（アイデアの提案等）
		鉄道、路線バスの通学利用等のPR支援策の検討	・市内の高校のオープンスクール、中学校の進路説明会等で、電車・バスでの通学をPR（事業者の案内チラシを配るなど）、スマホ定期的紹介等（市がPRに協力）	新規	運行事業者	市（PR支援） （学校関連部門と連携）
	<b>▼ 1-4 持続的な運営のための方策の検討</b>					
		バス・タクシーの事業者の運営状況（乗務員の確保等）に関する定期的な意見交換	・定期的に意見交換の場を設ける（年1回以上） （初期の開催の呼びかけは、市が行う）	新規	市、バス・タクシー運行事業者 （意見交換への参加）	
		乗務員確保の方策の可能性検討	・免許取得、就職奨励、女性運転手雇用環境等に係る方策の可能性を検討（事業者が継続的に検討） ・市の広報、HP等の媒体、IUターンのキャンペーン等を活用した求人活動など、市が支援できることを検討	継続 可能性検討	バス・タクシー運行事業者	市（市民関連部門と連携）
		市内循環バスの広告募集	・広告掲示料金による収益（積極的なPR） （その他、バス停のネーミングライツ等の検討）	継続	市	
	バスのスムーズな運行のロス、乗務員の負担等となっている箇所の、定期的なチェックと調整	・市内循環バスで、すれ違いが困難な区間、利用の無い区間、建物が支障になる区間などを定期的にチェック（バス事業者）。状況に応じ、市と調整して対応。	継続	市・運行事業者		
	運行事業者の負荷軽減につながるような新技術の情報収集	・自動運転、配車業務へのAI技術の応用、低エネ車など、来るべき時に備え情報収集する	新規	市・運行事業者		

取り組みの方向性 (基本方針)	取り組み(事業)	取り組みの内容(候補)		区分	取り組みの主体	
		取り組み事項(取り組みの概要として記述) (イメージとして例示)	補足メモ(イメージ・例)		主体	連携・協力等

2. 高齢化等を見すえ、市内の外出手段を確保し、便利にする調整・工夫をします

2-1 市内の外出手段の効率的な確保						
	廃止等路線バスの代替手段の検討	【再掲】	【再掲】			
	送迎バス等との連携の可能性検討	・大学等の送迎バスの運用状況について情報収集し、状況により連携(混乗、空き時間の活用等)の可能性を打診	可能性検討	市(情報収取)		送迎バス運営主体(調整)
	地域が中心となった外出サービス等の可能性検討 (地区の拠点のバス停までの移動手段等)	・モデル地区等で、地域主体の意見交換会から始める(後述) ・議論が進めば、地域が運営する相乗りタクシー、ボランティア送迎、小型グリスロ、エリア限定タクシー等の実証運行(市の支援による)	可能性検討	市民 市(取り組みへのサポート)		
2-2 市内のお出かけの利便性向上のための運行・運用方法の工夫						
	市内循環バスの「反対回り便」の検討 (実証運行等)	・便数を大幅に増やさず一部の便のみ反対回りを試行する等(期間限定等で実証運行)	実証運行、試行等	市		運行事業者(見直しへの提案等)
	店舗等と連携した特典等の継続・検討と、応援ショップの積極的な募集	・「ハッピー乗り乗り(ハビノリ)」の継続。特典等を継続的に検討。 ・応援ショップの店名を、一覧等にして、市の施設や駅前に貼りだすなど、もっと大々的にアピール(協賛店側のメリットが大きくなる)	継続	市(商業関連部門と連携)		店舗等(協力)
	主要な施設への市内循環バスの乗り入れ等	・利用が多く、まだ乗り入れをしていない店舗等について、敷地内への乗り入れ、なるべく建物近くへのバス停の設置を打診。	継続	市		店舗等(協力) 運行事業者(見直しへの提案等)
2-3 市外へのお出かけの利便性向上のための運行・運用方法の工夫						
	鉄道・バスの乗り継ぎのための情報交換、ダイヤ調整	【再掲】	【再掲】			
	異なる交通機関の乗り継ぎの連携等の継続・検討	・杉戸町巡回バスとの無料乗り継ぎは継続。 ・その他のバスとの乗り継ぎについては必要性、可能性を検討	継続 可能性検討	市		隣接市町(乗り継ぎの連携) 運行事業者(仕組みへの協力)
2-4 福祉等と連携した外出支援(※乗り合いの公共交通の利用が難しい人への支援)						
	福祉部門による外出支援の継続的な取り組み	・福祉タクシー(タクシー券の交付)等の事業を継続(※乗り合いの公共交通の利用が難しい人への支援)	継続	市(福祉関連部門)		運行事業者(運行)
	市内循環バスへのサポーター等の添乗の検討	・例えば循環バス乗降サポーター(資格問わず)が乗車し、降りるバス停を教える、荷物の積み下ろしだけ支援する等	可能性検討	市(福祉関連部門と連携)		
	高齢者等の買い物ツアー(貸切タクシー等)	・添乗付きでの市内店舗への買い物ツアー(地区単位等)	可能性検討	市(福祉関連部門と連携)		
	妊婦さんのタクシー利用への支援等の検討	・安心して利用して頂けるような方策を検討	可能性検討	市(健康関連部門と連携)		運行事業者(アイデアの提案等)

取り組みの方向性 (基本方針)	取り組み(事業)	取り組みの内容(候補)		区分	取り組みの主体	
		取り組み事項(取り組みの概要として記述) (イメージとして例示)	補足メモ(イメージ・例)		主体	連携・協力等

3. 利用時のわかりやすさ、やさしさを充実します

▼ 3-1 市の公共交通全体のわかりやすさの充実(出発前の情報)						
	市内循環バスマップの更新、充実	・デマンドエリア、タクシー乗降場、朝日バスの路線(時刻表は不可)も見やすく表記	継続	市	運行事業者(運行情報の提供)	
	高齢者等にもわかりやすい案内チラシ等	・マップのルートと、乗り継ぎがわかりにくいとの声が多いため、例えばコースごとに最小限の情報(代表的な便と乗り継ぎだけ)をごく単純に示す等	新規	市	運行事業者(アイデアの提案等)	
	高齢者等への出張説明会等	・各地区の集まり等に出向いて、使い方等を説明する等	新規	市(福祉関連部門と連携)		
▼ 3-2 乗り場での案内の充実(現地でのわかりやすさ)						
	市内循環バスの車両のカラー等と、バス停のカラー等によるコースのわかりやすい表示などの工夫の検討	・バス車両のラッピングとバス停のカラーを合わせる等(車両更新時等) ・車両更新までは、大型のマグネットを貼る等の方策を検討	新規	市	運行事業者(アイデアの提案等)	
	施設スタッフの協力による高齢者等へのホスピタリティ	・店舗、病院等のスタッフが、高齢者等に、乗るべきバスの便等の問い合わせに答えられるようにする等(ハピノリの協賛店に協力を打診する等)	可能性検討	市(商業関連部門と連携)	店舗、病院等(案内の協力)	
▼ 3-3 乗り継ぎ拠点での案内の充実						
	駅、駅前のバス乗り場の案内の充実	・改札前に、西口・東口に、どこ行きのバス乗り場があるか、わかるように表示する(簡易な大きいポスター等でも可)(現在はその案内が無いため、どちらに出ればいいのか分からない) ・駅前に、各バス乗り場の配置の総合案内看板等を設置する(簡易な大きいポスターでも可)(現在はその案内がないため、どこで待っていればよいか、バスが来るまでわかりにくい)	新規	市(施設関連部門と連携)	鉄道事業者(改札前等の案内掲示での理解・協力)	
	市役所、ウェルスでの乗り継ぎ案内の充実	・(乗り継ぎ便がわかりにくいとの声があるため、)循環バスの乗り継ぎの案内を、簡潔に大きく表示する。市役所では朝日バスの乗り場の場所も記載する。	新規	市(施設関連部門と連携)		
▼ 3-4 乗り継ぎ拠点での待ち環境の充実(待ち時間が長くても過ごせる環境にする)						
	施設(駅、市役所、ウェルス)の建物内のバス案内情報の掲示(建物内で待てるようにする)	・施設内に、バスのマップ、時刻表を大きく掲示する等(施設関係者に打診) (駅、市役所、ウェルスの他、大型店、病院等の施設にも打診)	新規	市(施設関連部門と連携)	鉄道事業者(改札前等の案内掲示での協力) バス事業者(情報の提供) 店舗、病院等(掲示の理解・の協力)	
	待ち環境の充実の可能性検討	幸手駅、市役所等の乗継拠点の待ち環境を改善するため、関係者と意見交換を行う。	新規	市(施設関連部門と連携)	運行事業者(見直しへの提案等)	
	バスのリアルタイム位置情報を、建物内で表示(到着直前まで建物内で待てるようにする)	・循環バス(中央コースだけでも)にGPSをつけることを検討 ・簡易なタブレット、モニター等を施設内に設置し、車両の現在位置を地図上に表示。(施設関係者に打診)(朝日バスは位置情報あり)	試行等	市(施設関連部門と連携)	バス事業者(GPSの設置、情報の提供) 駅、店舗、病院等(設置の理解・協力)	
▼ 3-5 人にも地球にもやさしい利用環境						
	車両更新時に、低エネ車を検討	・EVバス、FCバスなど(市の地球環境部門による支援等)	可能性検討	市(環境関連部門と連携) 運行事業者		
	公共交通の利用環境に関するユニバーサルデザイン(継続的に取り組み)	・駅、乗り場(整備済み、今後も継続)、バス・タクシー等の車両のユニバーサルデザイン	継続	市(福祉関連部門と連携)	運行事業者(取り組みの継続)	

取り組みの方向性 (基本方針)	取り組み(事業)	取り組みの内容(候補)		区分	取り組みの主体	
		取り組み事項(取り組みの概要として記述) (イメージとして例示)	補足メモ(イメージ・例)		主体	連携・協力等

4. クルマ中心の外出スタイルを見直し、公共交通を利用する意識の醸成を図ります

▼ 4-1 市民への広報PR						
	市の広報媒体、イベント等での積極的なPR	・使える時は、少しでも公共交通を利用するよう呼びかけ ・市民まつりでのバスの展示等(継続)	継続	市	運行事業者(企業としての個別の取り組み)	
	バス車内、駅等でのお絵かき展等	・児童が描いた絵をバス車内、駅等に展示する	新規	市	運行事業者(取り組みへの協力)	
▼ 4-2 免許返納者へのサポート						
	自主返納した人へのサポート	・運転免許証自主返納者支援事業(タクシー利用券)の継続 ・市内循環バスの利用券の可能性検討	継続 可能性検討	市(安全関連部門と連携)	警察(取り組みの協力) 運行事業者(取り組みの協力)	
	返納を考える人へのサポート(可能性検討)	・返納を考える人(返納前)に、バス割引乗車券(お試し券)を発行する等	可能性検討	市(安全関連部門と連携)	警察(取り組みの協力) 運行事業者(取り組みの協力)	
▼ 4-3 市民のモビリティ・マネジメントへの挑戦						
	小学生等の乗り方教室	・実際のバス等の車両を用いた乗り方教室(運行事業者の協力)(呼びかけ等は市が行う)	新規	市(学校関連部門と連携) バス運行事業者 市民(積極的な参加)	学校(開催への協力)	
	高齢者等の乗車体験会(公共交通を使ったお出かけツアー等)	・地区ごと等で参加者を募り、実際にバス等に乗って「定期的に」買い物等に出かけるツアーを企画。(福祉部門と連携)	新規	市(福祉関連部門と連携) 市民(積極的な参加)	運行事業者(アイデアの提案等)	
	転入者への情報提供	・市の転入窓口等でリーフレット等を配布。その他、転入を考える人への情報提供機会についても、関係者と調整。	継続	市(市民関連部門と連携) 市民(情報の理解)		
	市内循環バス等無料デー	・1日または1週間、無料で乗車できるようにする(またはお試し乗車券の進呈等)	新規	市 市民(積極的な参加)	運行事業者(アイデアの提案等)	
	事業所従業員への自家用車以外の通勤手段利用の呼びかけ	・商工会、企業団体等へ、従業員の自家用車以外の通勤手段の利用(できる人が、できる時に、できる方法で実践する)の呼びかけを依頼	新規	市(企業関連部門と連携) 市民等(積極的な参加)	企業等(呼びかけの協力)	
	健康、地球環境、免許返納等の部門と連携したPR・キャンペーン等 (定期的に意見交換)	・定期的に意見交換の場を設ける ・健康、地球環境、交通安全のために過度なクルマ利用を控える活動に連携して取り組む(各部門のPR媒体に相互の呼びかけ内容を記載する等)	新規	市(各関連部門と連携)		
▼ 4-4 地域が中心になって考える機会の提供						
	各地区での意見交換会(定期的に開催)	・なるべく高齢者や学生等。外出の現状についての意見交換会(ファシリテータ等が進行役となり、公共交通のあり方について市民が考える機会とする等)(福祉とも連携) (R9年以降に向けた市内の公共交通もテーマの一つ)	新規	市(福祉関連部門と連携) 市民(主体的な取り組み)		
	地域が中心となったお出かけサービスの検討(主体的に考える機会へのサポート)	・まずは、モデル的な地区等で試行的に取り組む ・住民が主体的にお出かけサービスを検討しようとする地域をサポート(コンサルタントの派遣等)する(考える機会を持つことに意義がある) ・地域主体のサービス(相乗りタクシー、ボランティア送迎等)を試行することとなった際の役割検討等	可能性の検討	市(福祉関連部門と連携) 市民(主体的な取り組み)		

取り組みの方向性 (基本方針)	取り組み(事業)	取り組みの内容(候補)		区分	取り組みの主体	
		取り組み事項(取り組みの概要として記述) (イメージとして例示)	補足メモ(イメージ・例)		主体	連携・協力等

5. まちの賑わい創出に貢献 する方策を模索します	▼ 5-1 イベント開催時の連携					
		桜まつり・市民まつりの臨時バス等の運行	・臨時バスの運行(例年同様)	継続	市(イベント関連)	運行事業者(運行)
	▼ 5-2 観光オンシーズに公共交通が連携した企画等の検討					
		公共交通事業者と観光等の関係者による定期的な意見交換 ("まちなか"の賑わいに繋がる新たな企画、案内サービス等について)	・定期的に企画等の意見交換の場を設ける(年1回以上) ・有望な企画は、期間限定で試行する等	新規 試行等	市(観光関連部門と連携) バス・タクシー運行事業者	観光関係者等(協力)
		小型シェアモビリティの可能性の検討	・小型EVのカーシェア、伝送キックボード、電動バイク、シェアサイクル等 (バスとの共通券等の企画も検討)	可能性の検討	市	
		観光タクシー等の可能性検討	・貸切タクシー + 観光での特典等(レア商品等) (可能性の検討)	可能性の検討	市(観光関連部門と連携) タクシー事業者	観光関係者等(協力)
		観光オンシーズの案内の連携	・観光オンシーズのみ、駅前等にスタッフを配置し、観光案内とバス、タクシーの利用案内をできる ようにする	新規	市(観光関連部門と連携)	
		小さな拠点づくり(バス、タクシー待ちスペース、案内情報等) の試行等	・日光街道、権現堂公園近くの拠点となるバス停の近傍(空き店舗、公民館等)に、待てる環境 を作る。そこに観光、買い物、公共交通の情報(リーフレット、情報端末等)を集める	試行等	市(観光関連部門と連携)	運行事業者(アイデアの提案等) 観光関係者等(協力)
	▼ 5-3 来訪者の利便性の充実					
		バス等の運行情報のオープンデータ化と更新	・検索サイトで検索できるように、運行情報をオープンデータ化し、定期的に更新	継続	市 バス事業者	
		キャッシュレス化の検討	・ICカード、QRコード等(タクシー1社はキャッシュレス化済み、もう1社導入予定)(バスは可能性 検討)	新規 可能性検討	市、運行事業者	市(支援の検討)
		来訪者に便利な新技術の情報収集	・MaaSや、アプリを活用した民間サービスのアイデアなど、来るべき時に備え情報収集する	情報収集	市	運行事業者(企業として各社個別に情報 収集)
	配車アプリなど多様なタクシーのサービスの検討	・配車アプリは導入済み(定額タクシー等は適宜検討)	継続	タクシー事業者	市(支援の検討)	